

大玉のハクサイに歓声

J A 邑楽館林 都心から1時間で農業体験

県内各地の農業地域を舞台に、農作物収穫や直売所で新鮮野菜の買い物を楽しむ体験型ツアー「グリーンツーリズム」が行われている。JAグループの旅行社、農協観光（東京都）が自然や農作業など都会に住む人に好まれる内容を盛り込み、各JAの協力で企画。29日のJA邑楽館林管内のツアーは、22人の参加者がハクサイ収穫を体験した。



専用の包丁を手にハクサイ収穫を体験する参加者ら

「わーっこんなに大きなハクサイ初めて。本当においしいぞ」
抱ききれないほどの大玉を手に女性が笑顔をみせる。邑楽町の畑に家族連れや女性グループが無邪気に収穫を楽しむ声が響いた。
東京、神奈川など首都圏の参加者は早朝に大型バスに乗り込んだ。JA邑楽館林が誇るブランド白菜「邑美人」の収穫体験を旨当てに高速道に乗り1時間ほどで到着した。
職場の先輩と2人で参加した川崎市桜井町紀さんは、収穫用の包丁の取り扱

いに悪戦苦闘。「ハクサイ畑を見るのも初めて。本当に新鮮」とJA職員の手助けでようやく刈り取りに成功した。女性グループのツアー常連者、東京都品川区の野口八重子さんは「東京から1時間足らずでこんなにどかな農地があるなんて知らなかった。収穫体験もできて楽しい」と妻と2人で参加した横浜市平沢正幸さんは、刈り取ったばかりのハクサイをちぎって口に運び「こんなに甘いんですか」と驚く。今回のツアーテーマは

農業に興味ある人

JAや農業に興味のある人集まれ、JAグループ管内19日午前、JAグループで就農就農ガイダンスを開催。同グループの各団体や企業が集まり、2012年のJAグループの卒業生や新規就農者、JAの募集に関する情報提供を行う。泉の企画調査による「新規就農者」

大層に増えたと見られる。JAグループ管内の各団体や企業が集まり、2012年のJAグループの卒業生や新規就農者、JAの募集に関する情報提供を行う。泉の企画調査による「新規就農者」

JAグループ管内19日午前、JAグループで就農就農ガイダンスを開催。同グループの各団体や企業が集まり、2012年のJAグループの卒業生や新規就農者、JAの募集に関する情報提供を行う。泉の企画調査による「新規就農者」

上州麦豚ソーセージとブランド野菜「邑美人」で作る絶品ポトフのランチ。参加者はJA高崎ハム職員の指導でソーセージ作りも体験。昼食は収穫したばかりのハクサイとソーセージを使ったポトフを味わった。農業や自然をテーマとするグリーンツーリズムは、都市と農村の交流事業として以前から実施されてきた。全国で起こった「産地偽装事件」などの影響で食の安全への意識が高まり、生産者と交流を求める消費者が増加。ここ数年人気が高まっている。

県内各JAは都心から100キロ圏という楽やすい立地を生かし、邑楽館林のほかに利根沼田、あがつまなども体験型ツアーを行っている。今後は日帰りだけでなく、宿泊施設を充実させるなど小中学生のホームステイなど農村体験の受け入れに力を入れていく。

今回のツアーを担当したJA邑楽館林の阿部信久生活部長は「参加者に地域の魅力を知ってもらい、リピーターとして何度も足を運んでもらえるようPRしていきたい」と話した。